
経済 TOPICS

No. 210
(2023年2月20日)

景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 消費が緩やかに持ち直しているほか雇用も改善傾向が続いているものの、生産、輸出、設備投資が横這い圏内の動きにとどまっていることから、全体としては持ち直しの動きが足踏みしている。この間、資源・食料価格の高騰に伴う物価上昇や、欧米諸国の金融引締めに伴う経済減速の影響が懸念されるなど、先行き不透明感が強い状態が続いている。
- 米国 … 中古住宅販売が減少し続け、生産や輸出が頭打ちするなど、金融引締めの影響が徐々に強まっているが、個人消費や設備投資が堅調を維持し、雇用もタイトな状態が続いていることから、全体としては緩やかに回復している。消費者物価は、エネルギー価格の前年比効果などからピークアウトしているが、サービス価格の上昇圧力が続いている。
- 欧州 … 生産は横這い圏内の動きながら、輸出や消費が改善していることから、緩やかに持ち直している。この間、エネルギー価格は落ち着いてきたものの、インフレは継続している。
- 中国 … 生産は堅調ながら、輸出が減少傾向にあるほか、消費が低迷し、不動産開発投資が大幅に減少し続けていることから、全体としては減速し続けている。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所
